

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	決算書 P194	(款)10 教育費 (項)7 保健体育費 (目)1 保健体育総務費 2 体育施設費
コード	02-02-08	作成者	社会教育課長 竹林 幸作 (tel 64-1841)

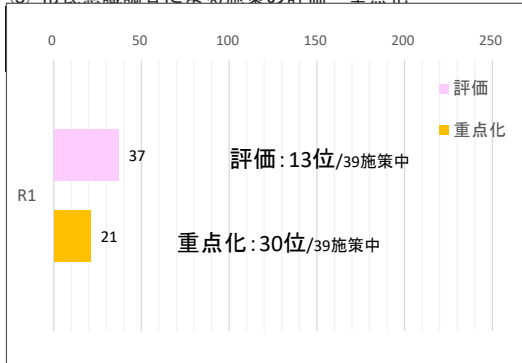
この施策の アピール ポイント	成人の週1回(15分)以上のスポーツ実施率を50%以上にするを目標とし、スポーツ人口を増やすことで生涯スポーツ社会の実現を目指す。スポーツへの関心や意欲を高めるためにスポーツイベントの誘致や開催など積極的な取組を行う。
-----------------------	---

この施策の 平成30年度の 施政方針	スポーツ・レクリエーション活動の推進につきましては、市体育施設や学校体育施設の有効活用、軽スポーツやニュースポーツの紹介、「架橋マラソン」、「スポーツフェスティバル」などのスポーツイベントの実施により、誰もが気軽にスポーツ活動ができる環境づくりに努め、また、全国大会等出場選手激励会の実施、市体育施設の機能充実により競技スポーツの推進を図ってまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想(大項目)	自己実現策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画(中項目)	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民だれもが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じていつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーション活動に参加でき、スポーツに親しめるようにすることで、市民の多様なスポーツニーズへの対応や健康増進を図り、生涯スポーツ社会の構築を目指す。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	運動公園をはじめ、市内の体育施設では、多くの市民がスポーツを楽しんでいます。市民の嗜好やライフスタイルの多様化、また高齢化の進展などに伴い、健康づくりから本格的な競技スポーツに至るまで、スポーツに対する多様な役割が期待されています。今後は、多様なニーズに対応し、市民誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会への環境づくりが重要になっています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツに触れる機会の創出</li> <li>・ 指導者の養成・確保</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブの育成と支援</li> <li>・ 競技スポーツの推進</li> <li>・ 子どもの体力向上</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析	運動公園をはじめとした体育施設が各地域に整備され、市民の方が様々なスポーツを楽しむことができる環境が整っており、年間を通して幅広いスポーツイベントが開催されていることが全世代にわたって評価されていると考えている。
---------	--

重点化要望の分析	今後もスポーツ施設の適正な管理運営に努めながら、各種スポーツ大会・教室、マラソン大会などを通じてのスポーツ振興により、市民のスポーツ実施率の向上による地域活性化を図っていきたい。
----------	---

⑥ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H28	H29	H30			R2	R4
成果指標 週一日以上運動している市民の割合【市民意識調査】	目標	%	50.0	40.0	40.0	市民意識調査結果 (H26・28・30は未実施)	R2	40.0
	実績	%	33.6		35.4		R4	45.0
	達成率	%	67.2		88.5			
	ベンチマーク		65%	65%	65%			
参考指標 ① 総合運動公園等市内体育施設の利用者	目標	人	460,000	386,000	386,000	市内のスポーツ施設の利用者数	R2	405,000
	実績	人	385,562	320,670	360,795		R4	424,000
	達成率	%	83.8	83.1	93.5			
	ベンチマーク							
参考指標 ② 学校体育施設開放利用者	目標	人	140,000	64,000	64,000	地域スポーツの活動拠点として学校体育施設を利用している人数(1年間の延べ人数)	R2	65,500
	実績	人	58,098	54,949	50,144		R4	66,000
	達成率	%	41.5	85.9	78.4			
	ベンチマーク							
参考指標 ③ 50m走平均値	目標	秒				市内小学5年生男子	R2	9秒30
	実績	秒	9秒34	9秒40	9秒53		R4	9秒25
	達成率	%						
	ベンチマーク			9秒37	9秒37			

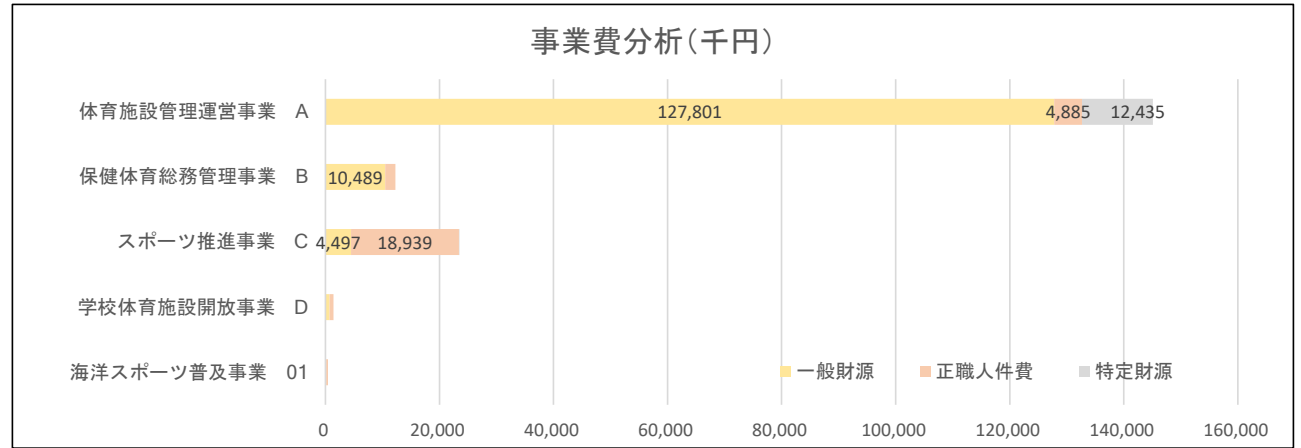
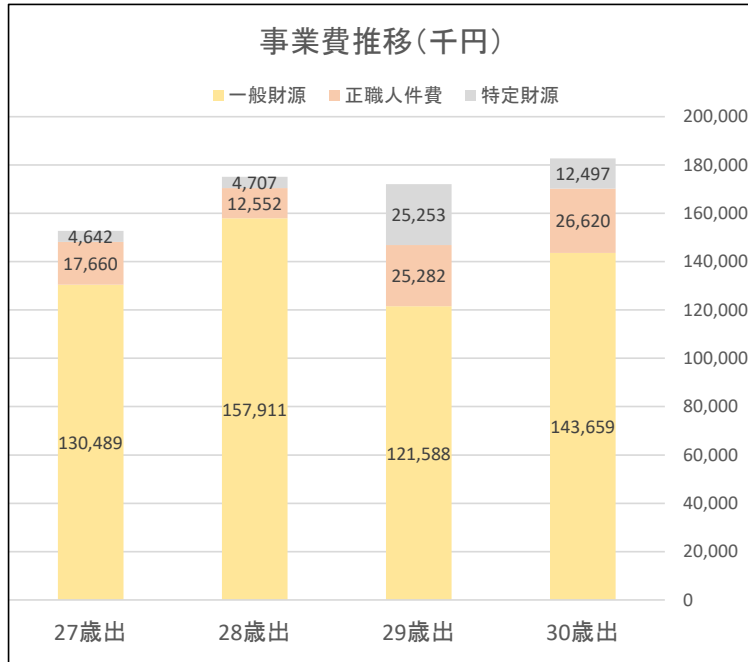
⑦ 目標達成に必要な新規事業(施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
企画課	東備西播定住自立圏	トップアスリート招聘(へい)事業などで圏域内の住民の競技レベル向上や交流促進などを期待している。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	本市のスポーツ振興基本計画により「生涯スポーツ社会実現に向け成人の週一回以上のスポーツ実施率が50パーセント以上とする」目標に徐々に近づけていけるように、各種スポーツ施策を展開することとしている。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	スポーツ人口を増やす取り組みとして、スポーツフェスティバルやトップアスリートの招聘や、障がい者も参加できるスポーツイベント教室などを開催し、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供している。また、指導者の育成・確保の取り組みとして登録制度を取り入れ、出前スポーツ教室としてスポーツ機会の促進を図っている。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	高齢化が進んでいるためか、週に1日以上運動している人割合は伸び悩んでいる。目標達成に向けて、市民ニーズに沿って魅力あるスポーツイベントの開催をはじめ、いろいろな世代の方がスポーツをはじめるきっかけとなる場を積極的に提供していく必要がある。	
進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況)		第3種公認を受けた陸上競技場でオリンピックにちなんだ陸上競技大会を支援したり、市民の日常生活の中にスポーツが一層取り入れられよう、スポーツフェスティバルや各種スポーツイベントなど開催して、スポーツ実施率を目標値に近づけるよう努めている。また、スポーツによる地域活性化推進のため、スポーツツーリズムにつながる架橋を使ったマラソン開催に取り組んでいる。	
翌年度(R2年度)の取組目標		市民ニーズに沿ったスポーツ・レクリエーション大会や各種スポーツイベントを開催する。スポーツを始めるきっかけづくりとなる機会や場所を提供することにより、成人が週1回15分以上スポーツを行う人の割合を高め、生涯スポーツ社会の実現により地域活性化につなげていく。	
二次評価者コメント		スポーツ振興については、関係機関・団体とも連携協力し、「市民福祉向上」はもとより「まちの活性化」にも繋げていきたい。スポーツ大会の運営・実施についてはそれぞれが自立的なものとなっていくように取り組んでいきたい。	基本施策への貢献度 <b>4 やや高い</b>

08 スポーツ・レクリエーション活動の推進【社会教育課】



事業費 1.8 億円  
 特定財源 0.1 億円

